

◆ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ：国際宇宙ステーション船外で、フルサイズミラーレス一眼カメラ『α 7S II』が民生用カメラとして世界初となる 4K 映像の撮影に成功

ソニーのフルサイズミラーレス一眼カメラ『α 7S II』は、国際宇宙ステーション (ISS) の船外で 4K(QFHD 3840 × 2160) 映像の撮影に民生用カメラとして世界で初めて (※ 1) 成功し、本日、当社はそれらの映像を公開した。映像は、雪に覆われた峰々の凹凸や、大都市圏の街明かり、色調の違いまでを鮮明に捉えた宇宙からの日本列島の昼と夜の姿だ。

これらは高感度性能をもち、高解像度 4K 動画記録が可能な『α 7S II』だからこそ捉えることができたもの。

『α 7S II』は、ISS の「きぼう」日本実験棟に設置された、新たな船外プラットフォーム用カメラシステムの内蔵カメラとして使われている (※ 2)。

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) によって行われたさまざまなカメラの検証試験の結果、高真空・宇宙放射線・急激な温度変化など、宇宙ならではの過酷な環境に耐えうる耐久性と信頼性を『α 7S II』が保持することが確認され、採用に至った。

『α 7S II』 (※ 3) は、種子島宇宙センターから 2016 年 12 月 9 日に打ち上げられた ISS 補給機「こうのとりのり」6 号機によって運ばれたのち、2017 年 2 月 8 日に「きぼう」の船外実験プラットフォームに設置された。

現在も、約 90 分ごとに地球を 1 周しながら約 400 キロの上空で 4K 映像や静止画の撮影を行っている。

※ 1: 2017 年 7 月 27 日広報発表時点。ソニー調べ。

※ 2: 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) により採用。

※ 3: 装着レンズは、35mm フルサイズ対応の電動ズーム G レンズ (TM)

『FE PZ 28-135mm F4 G OSS』。

◆◆詳細に関しては、下記 URL を◆◆

<https://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/Press/201707/17-068/>

『α 7S II』が撮影した 4K 映像はこちらから

www.sony.jp/ichigan/space/

◆ブラックマジックデザイン：シャロン・ストーン出演「A Little Something for Your Birthday」のグレーディング、DaVinci Resolve Mini Panel を使用

2017 年 7 月 26 日 - Blackmagic Design はこの日、MTO Color Inc. の創始者でシニア・デジタル・カラリストのマーク・トッド・オズボーン (Mark Todd Osborne) 氏が、新しいインディーズ映画「A Little Something for Your Birthday」のコンフォーム、グレーディング、フィニッシングに DaVinci Resolve Studio および DaVinci Resolve Mini Panel を使用したと発表した。

主演のシャロン・ストーンが MRB Productions と共にプロデューサーを務めた同作は、キャリアと恋愛に悩む女性の誕生日の様子を切り取り、人間として成長していく姿を描く。脚本 / 監督には

スーザン・ウォルター (Susan Walter) 氏を迎え、撮影監督はペドロ・ゴメス・ミラン (Pedro Gómez Millán) 氏が担当した。出演者にはトニー・ゴールドウィン、ファムケ・ヤンセン、アカデミー賞受賞歴のあるエレン・バースティンが名を連ねる。

「カラリストは作業をする上で、毎分 100 回もクリエイティブな決断を下しているのだから、使用するテクノロジーが作業の邪魔にならないことが重要です。思考や作業の流れについていける製品である必要があります」とオズボーン氏は説明する。「DaVinci Resolve Mini Panel は、それができる製品です。流れるように作業ができます。パネルでは、DaVinci Resolve Studio のツールがボタン 1 つで使用できるので、作業速度が上がりました。直感的に使用できるように設計されていて、重要な機能が全て手元にあるので、機能を使用するためのコマンドを探し回って時間を無駄にすることもありません。まるで風水の要素が取り入れられているかのようです」と同氏。

「本作の核はラブコメなので、ハッピーでクリーンなルックを目指して作業を行いました。DaVinci Resolve Mini Panel を使用して、サチュレーションと明度の高い、快活な雰囲気のコントラストを作成しました。ラブコメはクローズアップを多用した『顔の映画』が多いので、クリーンで美しいルックを作成する必要があり、スキントーンは極めて重要です。本作では、DaVinci Resolve Studio の Power Window を使用して、俳優の顔を明るくして背景から引き立つようにし、その後、背景をぼかして奥行きを加えました。DaVinci Resolve Mini Panel には、ブラーのボタンがあるので作業時間が大幅に短縮できました。今回の作品では、ブラーとデフォーカスを多く使ったので、指先でコントロールできるのは本当に便利でした」と同氏は語る。

「最後のシーンは、登場人物が夜の砂浜にいる場面なのですが、照明の関係でバランスを取るのに苦労しました。このシーンは、他に比べて少し冷たいルックになりました。イメージを明るくする必要があったのですが、同時にリアルさを感じられ、かつ映画のルックを保ち、テレビのホームコメディのようなルックにならないように心がけました。DaVinci Resolve Studio のプリンターライトホットキーを使用することで、バランスを意図した通りに調整できました。その後、ノイズ除去を使用してシーケンスをスムーズにしました。DaVinci Resolve Mini Panel を使用することで、クリエイティブの流れを止めることなく、直感的に調整が行え、バランスを取ることができました」と同氏。

DaVinci Resolve Mini Panel を使うことで、オズボーン氏は作業に集中できたと言う。「パネルの感触がとても気に入っています。非常にしっかりとしていて、手触りが良いですね。使い始めたら、全てがスムーズに流れるように進むので使っていることを忘れるくらいです。2 枚の LCD スクリーンもとても便利です。カラリストは何事にも視覚的な情報を好むので、作業の状況が見えて、変化が実感できるのはうれしい機能です」と同氏は締めくくった。

同作の最新情報は Facebook、Instagram、Twitter (ハンドルネーム: @thebdaymovie) にて随時更新中。MTO Color Inc. の詳細はこちら marktoddosborne.com。

◆ AVID : マイアミ放送局 WPLG、Avid でニュースルームを包括的に改修

～ Avid MediaCentral Platform により、マイアミのニュース・リーダーはニュースルームと現場チーム間のコラボレーションを促進し、魅力的なニュース・コンテンツの効率的な制作を実現～

2017年7月25日(火) 東京・グローバルなメディア組織、企業ユーザー、クリエイティブ・プロフェッショナルに、メディア・アセットの制作、配信、収益化技術を提供するアビッドテクノロジー株式会社(本社:東京都港区)は、マイアミのABC系列局WPLGが、Avidの包括的ツール及びワークフロー・ソリューションをベースにするストーリー中心型ニュース・ワークフローに投資したと発表しました。業界随一のオープン性、統合性、効率性を誇るメディア向けプラットフォーム Avid MediaCentral® Platform 上で稼働する完全統合されたワークフローにより、WPLGのニュースルームと現場スタッフは、シームレスに協業して、ソーシャルメディア・コンテンツを放送に組み込むことができる。

競争が激しいダイナミックなマイアミのニュース市場を勝ち抜くため、WPLGでは、老朽化したニュース・インフラストラクチャーの改修が必要でした。ユーザー生成コンテンツの登場により、スタッフがニュースルームからでも、現場からでもソーシャルメディア・サイトの映像にアクセスできる統一されたワークフローが必要になりました。10年来のAvidカスタマー・コミュニティ・メンバーであるWPLGは、緊密に統合された協業ワークフローをAvidとMediaCentralプラットフォームに求めた。

「Avid製品により、弊社が必要とするニュースルームと現場スタッフ間でのシームレスな双方向フローが実現できました。現場スタッフはスタジオのツールにアクセスし、スタジオは現場スタッフにコンテンツを流し、そして現場スタッフがコンテンツを選択して取り込むことが容易になります。」とWPLGチーフ・エンジニアのDarren Alline氏は話します。「Avidにより、様々なワークフローだけでなく、ニュースルーム、制作アセット管理、ノンリニア編集システム間の緊密な統合が可能になります。」

Avidの「堅実」かつコスト効率の良い共有ストレージ・ソリューションの使用経験に基づき、WPLGはメディア業界初のソフトウェア定義プラットフォーム Avid NEXIS® に投資した。業界標準ノンリニア編集システム Avid Media Composer® を活用するニュースルームの編集チームに加えて、制作サービス・チームも Adobe Premiere Pro プロジェクトに Avid NEXIS を使用する。

WPLGユーザーは、Avid MediaCentralのクラウドベースのWebフロントエンド Avid MediaCentral | UX を用いて、Avid Interplay | Production アセット管理システムまたはニュースルーム・システムのいずれを使用しているか、統一されたデスクトップ環境からメディアへアクセスし、プロジェクトに取り組むことができる。

さらにWPLGは、システムの大部分の仮想化とストーリー中心型のワークフローの新機能トレーニングに Avid Professional Services と Avid Consulting Services を活用しました。機能毎にサーバーを用意する必要が無い仮想環境により、WPLGは、高

い有用性、耐障害性、簡単なアップグレード・パスを手に入れることができる。

「ニュース制作の進化に伴い、Avidのストーリー中心型ワークフローによりWPLG等のニュース放送局は、最先端のツールとワークフロー・ソリューションを使い、スタジオであろうとも、ロケ現場であろうとも、場所を問わずにチーム間のシームレスなコラボレーションを強化することができます」とAvid代表取締役のジェフ・レシカは話します。「MediaCentral Platformにより、WPLGは、競争が激化したマイアミのニュース市場を勝ち抜くために必要な緊密に統合した高効率のニュースルームを手に入れました。」

◆ TOHO シネマズ:愛知県日進市「赤池」駅至近にオープンする『PRIMETREE AKAIKE (プライムツリー赤池)』内に「TOHO シネマズ 赤池」を出店する。

TOHO シネマズ株式会社は、2017年11月下旬に株式会社セブン&アイ・ホールディングスが愛知県日進市「赤池」駅至近にオープンする『PRIMETREE AKAIKE (プライムツリー赤池)』内に10スクリーン約1,700席のシネマコンプレックス「TOHO シネマズ 赤池」を出店する。

『PRIMETREE AKAIKE (プライムツリー赤池)』は、地域のお客様たちと共に成長し、地域のお客様たちが誇りに思え、赤池の成長に寄り添い、半歩先を見つめる商業施設。その中で「TOHO シネマズ赤池」は、これまでのシネマコンプレックス運営で培った経験を活かし、非日常的な空間を意識した洗練された劇場を提案。東京で大好評のアトラクション 型4Dシアター「MX4D」、TOHO シネマズ独自規格の左右の壁いっぱいに加大されたスクリーン「TCX」に加え、さらに ゆったりと映画をご鑑賞いただける「プレミアムボックスシート」を愛知県の劇場として初導入し、最高品質の鑑賞環境を提供致す。

当初この項は、「デジタル時代の映像関連用語解説」No.162「ゴールデンウィークから初夏の展示会あれこれ」の予定でしたが、都合により変更になりました。

映像スタジオ施工

多様化するデジタル映像環境に対応、映像スタジオ施工なら豊富な実績、直営システムに依る徹底したコストダウンを実現する



匠の技をスタジオに

MA室 ブース 各種 編集室

新設、リニューアルに関わらず何でもご相談ください。

～映像・音響専門で
38年～

(映像・音響・防音・建築・設計・施工)

一級建築士事務所

高橋建設株式会社

本社 〒216-0032 神奈川県川崎市宮前区神木1-7-8

TEL044-853-0547 FAX044-852-1588

(社)日本ポストプロダクション協会会員 / (社)日本音楽スタジオ協会会員
(社)日本音響学会会員

http://www.takahashi-kensetsu.co.jp
info@takahashi-kensetsu.co.jp